

第2学年特別活動(学級活動)学習指導案

日 時 平成21年 10月9日(金)5校時
 学 級 2年A組 男子10名 女子7名 計17名
 指導者 教諭

1 題材名 自分の進路を考えるために一選ぶときに重視することは一

2 題材について

(1) 題材について

生徒たちは、今までの進路学習や職場訪問・上級学校訪問などを通して基本的な職業観を身につけ、職業や上級学校の種類や内容、特色など将来の進路先の情報を得ている。また、これまでの進路学習において、自分自身の特色や個性をとらえる学習をしてきてはいる。しかし、職業観や自己理解については成長とともに深まるものであり、学習とともに新しい発見も期待される。

この題材ではこれまでの進路学習や自己理解の学習をふまえ、将来の職業や仕事・学校を選択する際に何を重視するかを考えさせる。そして、自分なりの勤労観・職業観をさらに深めていくという意図で設定している。

自己と社会とのかかわりを考える中学生の時期に、人は何のために働くのか、なぜ働かなければならないのかを考えさせたい。また、将来職業人・社会人として自立し、生きがいのある人生を築こうとする意欲・態度を育成したい。

(2) 生徒について

生徒は、自己と他を比較し、その違いから互いの特徴や個性を知るが、その多くは長所より短所の方に注目しがちである。そのため自分に自信を持って自己理解を深め、自己の向上につなげようとする意識は高まっていない。また、中学校卒業後は高等学校への進学を考えてはいるものの、目的意識は希薄で自分の適性や就きたい職業と関連させて進路を考えている生徒は少ない。生徒たちは2年生になり、4月に学習旅行(盛岡・雫石)で職場訪問や上級学校訪問、8月には高校体験入学、重茂味まつりへの参加をして、職業・進路に対する考え方を学んできた。

進路希望調査の結果をみると、希望職業を複数、関連性の薄いものを挙げている生徒が多い。その理由として自分が何に向いているかわからないということと、将来の職業について何をもとにしてどうやって選んだらよいかかわからないということが考えられる。

(3) 指導について

中学校において、将来の職業や仕事を選択する際に重視することを考えることは、自分なりの勤労観・職業観を形成していくために大切なことである。ここでは、いくつかの選択肢の中から選ぶことにより、また、他人の考えを聞く中で何を大事にしていきたいのかを考えさせる。

また、グループでの話し合いを通して、話す人・聞く人・進行などの自分の果たす役割等について理解を深めたい。

3 指導計画

今までの学習	学習旅行による職場訪問・上級学校訪問	4月16日17日
	学習旅行のまとめ	4月～5月
	進路学習	6月
	夏休み中の体験活動について(高校体験入学・味まつり)	7月24日
事前指導	アンケート実施 執行部・班長会議	8月
本題材の学習	自分について考える	9月1日
	自分の進路を考えるために	10月9日・本時
	自分が生きる自分の道	11月
	適性を生かす進路を考えよう	11月
	進路計画を立てよう	12月

事後指導	進路通信で感想などを紹介	短学活
	個人面談	放課後

(1) 本時の目標

将来の職業生活や卒業時の進路選択に備え、働くことの目的や生き方について考える。

(2) 具体の評価基準

観点	A (十分満足)	B (おおむね満足)	努力を要する生徒への支援
意思決定能力	・他の人の考えを聞く中で、自分が将来の職業や仕事を選ぶ際に重視することを考え、記入することができる。	・将来の職業や仕事を選択する際に重視することを考え、記入することができる。	・机間指導をし、活動が進まない生徒について助言をする。

(3) キャリア教育との関わり

本題材は研究の3つの視点の①自己の生き方を考える(進路学習)として行う。
 中学校において、将来の職業や仕事を選択する際に重視することを考えることは、自分なりの勤労観・職業観を形成していくために大切なことである。ここでは、いくつかの選択肢の中から選ばせ、他の人の考えを聞く中で、自分が何を大事にしていきたいのかを考えさせる。また、様々な選択肢について比較検討し、今の時点で最も重視することを考えさせることで、主体的に判断し、自らに相応しい選択・決定を行っていく能力「意思決定能力(選択能力)」を高めていく。
 また、職業や仕事を選ぶ時に重視することを自己分析し、グループで話し合うことは「人間関係形成能力(自他の理解能力・コミュニケーション能力)」にかかわる部分である。

4 本時の事前の指導

- (1) 「将来の職業や仕事はどうやって選んだらいいのかな？」課題1・2を記入しておく。
- (2) (1)を回収して、学級執行部・班長会議で学級活動の内容を打ち合わせをする。

5 本時の指導過程

段階	学 習 内 容	学 習 活 動	※留意点・◎支援・●評価
導入 5	1 事前の活動の確認	・「将来の職業や仕事はどうやって選んだらいいのかな？」(プリント)への記入を確認する。	※ 人によって考えはそれぞれ違ってよいということに触れておく。
	2 課題設定		
	将来、職業や仕事を選ぶ時に重視することを考えよう		

展 開	3 班ごと・学級全体の集計	<ul style="list-style-type: none"> 班毎にそれぞれの項目ごとに集計を行い、学級議長に報告。副委員長は学級の集計を行い報告する。 教師が全国アンケートの集計結果を伝え、各自の表に記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ プロジェクターで表をスクリーンに映す。 ※ 学級執行部・班長と事前に打ち合わせをしておく。 ※ 日本進路指導協会の資料
	4 班内で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 班毎にお互いに重視したこととその理由を発表しあい、データの感想も述べ合う。 班の代表が班内の話し合いの様子を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 進行を決める。 ◎ 発表の仕方を示しておく <ul style="list-style-type: none"> ・ 重視したこと ・ 理由 ・ データの感想 ◎ 聞いた内容をメモさせる。
40	5 自分の考えをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> 友達の考えも参考にして自分で進路を考える際に最も重視することについて記入する(課題5)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分で進路を考える際に最も重視することは何か、その理由も書くことができたか。
	6 最も重視することを発表する		
終 結 5	7 ふりかえり	ふりかえりを行う。	
	8 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習したことをもとに、現時点での進路計画を立てることを予告する。 	

5 板書計画

将来の職業や仕事を選ぶ時に重視することを考えよう

表

将来の職業を選ぶ際に重視する項目

班ごとの発表

発表の仕方

1. 重視したこと
2. 理由
3. データの感想

※聞く人はメモを取ることに

ふりかえり

1. 班の話合いを進めてくれた人は誰ですか。
2. 班の話合いに協力的だった人は誰ですか。
3. 班の話合いのときの、自分の役割は何ですか。
4. 班の話合いで、いい考え・面白い考えを発表したのは誰ですか。
5. 将来の職業や仕事を選ぶときに重視することについて考えを深めることができましたか。